

茨城大学同窓会連合会会報

2025.3
第19号



ホームカミングデー

旧年！地域になくなくてはならない茨大への脱皮に期待！



茨城大学同窓会連合会
会長 大舘 徹

令和6年9月の総会におきまして、杉田前会長を引き継ぎ、会長に選出されました。みなさま方のご協力を頂戴し、円滑な会運営に努めてまいりますと存じます。

私は、農学部を卒業、昭和59年に茨城県に入庁し、現在は定年退職し茨城県農林振興公社に在籍しております。

学生時代は、2年次から農学部（阿見町）に移り、育種学研究室の先生方や先輩後輩と夜間まで共に時間を過ごし、また管弦楽団では毎週本部に通い、他学部の学生とも交流。茨大は人生を支える知識、大切な知己を得る貴重な場であったと感謝しております。

さて、同窓会連合会への参画などを契機として、茨大の成果や課題に接する機会が増えました。例えばイバダイ・ビジョン2023レポートを拝見しましたが、教育・研究において優れた成果があがっていることが読み取れる一方、国からの交付金は20年間で約10億円減額され、2023年には56億円余となっており、国や地域の理解を得ながら資金や人材、協力を確保していくことが重要となっていることを実感しました。

このような中、今年度、イバダイ・サステナ・パートナーズ（略称：イバサス）が創設されます。関係者の他、大学を応援したい方に入会いただき、情報発信を通して茨大を広くご理解ご支援頂く良いツールになるものと期待しております。同窓会連合会としても協力してまいりますと存じます。

最後になりますが、在校生のみなさまには素晴らしい先生方、過ごしやすいキャンパスといった恵まれた環境の中で勉学に励み学生生活を謳歌されること、卒業生のみなさまには健康に留意され豊かな人生を過ごされることを祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

次世代育成に向けて：同窓会の新たな役割



茨城大学
学長 太田 寛行

茨城大学同窓会連合会の皆様方には、連合会が発足した2006年以来、ほぼ20年にわたって大学との連携を着実に展開していただき、魅力ある大学づくりに貢献して頂いています。改めて深く感謝申し上げます。

昨年は本学創立75周年を迎えたタイミングで、また、水戸キャンパス・共通教育棟の改装に合わせて、“スチューデントサクセス(Student Success)センター”を設置しました。これは、多様な「学生の自己実現(なりたい自分になる)」を実現できるように、学生の将来像づくりを支え、学生生活だけでなく、学業に関する悩みの解決をこれまで以上に支援する統合的な組織です。人口減少が加速している日本社会においては、学生一人ひとりの自己実現こそが社会を活気づけるはずで、そして、学生たちの自己実現への歩みでは、同窓会の皆さんは範となるはずであり、互いに交流する機会をもっともつことが望まれます。そこで、同窓会が核となって、学生・保護者や、さらにパートナー企業等の大学と連携する団体も加わって、これからの次世代の育成という俯瞰的な視野を持つ統合的な組織をつくる計画です。今年の茨苑祭のときに開催する予定のホームカミングデーは、そのような組織のキックオフとしたいと思いますので、ご理解頂くと共に、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

末筆ながら、同窓会連合会の皆さまの益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

同窓会交流コーナー

文理・人文学部同窓会の近況報告

文理・人文学部同窓会副会長兼幹事長 鈴木 章史

令和6年度総会は、令和6年7月27日（土）に、市内のホテルで行いました。

今回は、太田寛行学長を講師に迎え、大学の特色ある取り組みとして、全国の国立大学に先駆けて、人文社会科学部、工学部及び農学部を連絡協力学部とした教育組織「地域未来共創学環」等について講演をいただきました。



総会出席者の記念撮影

総会では、令和5年度の事業活動報告及び決算報告、令和6年度の事業計画及び予算についての承認、新年度からの役員及び理事（学年幹事）の選任を行いました。特に理事については、若返りを図り、理事全体の約20%に当たる19名の方が新たな理事に就任しました。また、大和田会長を始め、大部分の役員は引き続き留任しました。

総会後に、出席者全員で記念写真の撮影を行い、簡単に昼食会を行いました。次年度以降、多数の会員が出席できる状況になることを願い、解散いたしました。

教育学部同窓会の近況報告

教育学部同窓会幹事長 齋藤 英敏

令和6年度は6月9日（日）に役員会、幹事会・代議員会を対面して6月23日（日）に開催いたしました。小島会長のもと予算審議や事業計画について話し合いました。会の承認を経て、今年度も会の予算から教員採用試験対策等の費用として教育学部に100万円を拠出しました。また、学友会の設置に伴い、会則改訂の検討を現在行っております。新しい会則は次年度総会で検討の後ホームページに公開する予定です。同窓会ホームページはほぼ完成しておりますが、現在調整中です。ホームページから会員登録を可能にしたり、会報の閲覧ができるようにいたします。新年度の4月ごろより可動を目指しております。



ホームページ

理学部同窓会の近況報告

理学部同窓会会長 鈴木 忠和

2024年度の理学部同窓会の活動は、活動に携わる常任幹事の努力により、順調に推移しました。まず、同窓会の活動方針を決めるための第27回幹事会が26名の幹事の方々の出席を得て6月22日（土）に開催されました。会議では2023年度の活動報告、2024年度活動計画の審議をいただき、常任幹事会提案のすべての活動報告、計画について承認をいただき今年度活動をスタートさせました。特に今年度の活動の特徴は以下の3点において新たな展開がはかられました。

- ・一つ目はここ数年、同窓会の運営状況が改善されたことを考慮し、同窓会として理学部に協力して学生への支援活動を実施したことです。具体的には博士後期課程学生への学会等の参加に係る費用の支援です。
- ・二つ目は大学が行っている「同窓会会費の入学時一括徴収」に係る大学側の事務負担を同窓会として共有するため、「茨城大学基金」への協力です。すでに会計報告等で周知されておりますが、同窓会会費は2021年度以降大学が同窓会に代わって一括徴収することで協定が締結され、以降納入者の増加に伴い、同窓会会計は大きく改善されました。一方で大学にとって一括徴収はそのための事務的負担が大きく、各同窓会に対し協力を求められたものです。
- ・三つめは、「大学と同窓会との学生等個人情報の共同利用について」大学と同窓会が覚書を締結し、学生等個人情報について、共同で利用することにより、統一性及び正確性を担保し、情報収集の効率化と相



理水会集合写真(2024年11月2日・みまつホテル)

互の協力関係を発展させることです。

このような活動と並行して同窓会支部活動も成果を上げております。具体的には理水会が11月に、また京水会は10月に開催され会員の親睦が図られました。添付の写真には荷見先生のお元気な姿も拝見できます。

多賀工業会（工学系同窓会）の近況報告

多賀工業会理事 清水 淳

学生支援策の一つとして開始した「国際会議参加費支援」が、昨年（2024年）は採択数が2桁に達しました。今後もこのペースが続くことを願っております。また、同窓会活動への若手参加を促すべく組織した「多賀工業会学生会」の学生達と、週一のペースでミーティングを開いています。学生達は、今年のこうがく祭では、「OB・OGと学生との懇談会」に多大な協力をしてくれると共に、「ポップコーン屋台」をオープンしました（写真）。

昨年もカラーA4版の会報を約18,000部発行しましたが、発行・郵送のコストが大きな課題です。そこで、賛助金（卒業後25年経過した会員に依頼）を納めていない会員と、会費未納の会員には会報を送らないことにしております。



強い雨風の中で多賀工業会学生会の学生達が奮闘しています

農学部同窓会の近況報告

農学部同窓会幹事長 小松崎 将一

令和6年3月5日、令和5年度農学部同窓会学生表彰式（後学期）が開催され、学業成績が特に優れ、人物面でも優秀と認められた学部2年生7名と修士2年生7名が表彰されました。本表彰は、農学部同窓会が主催し、優秀な学生を顕彰する「同窓会学生表彰」事業の一環として実施されたものです。表彰式では、宮口学部長から

祝辞が述べられ、学部生に対しては「今後を見据え、さらに勉学に励み、農学研究科への進学も一つの選択肢として考えてほしい」との期待が寄せられました。また、修士2年生には「修了間際の表彰となったが、これを誇りと励みにし、次のステップへ進んでほしい」と激励の言葉が送られました。受賞者を代表して修士学生が謝辞を述べ、「学部から修士までの6年間、研鑽を積んできたが、4月からの就職後も努力を続け、社会に貢献したい」と今後の抱負を語りました。2024～2025年度の農学部同窓会役員体制について農学部同窓会役員会において会長には大朧徹氏、副会長には根本均氏と入野達之氏が選出されました。



役員会出席者の記念撮影

大学トピックス

茨城大学応援団体「イバダイ・サステナ・パートナーズ（略称：イバサス）」設立しました！

この度、創立75周年、創基150周年を記念とした周年事業の一環として、持続可能な地域・グローバル社会の実現に向けて、茨城大学が取り組んでいる教育研究を支援する団体を設立しました。団体の名称については、学内外から公募し「イバダイ・サステナ・パートナーズ（略称：イバサス）」に決定いたしました。

この団体では、大学の近況やサークル活動、同窓会の活動等についての情報発信や会員同士の交流の場を提供します。皆さまが参加しやすい会員専用のコミュニティサイトを立ち上げましたので、ぜひ、会員登録をお願いいたします！



イバサス登録フォーム

「茨城大学ホームカミングデー2024」を開催

令和6年11月10日（日）、「茨城大学ホームカミングデー2024」が茨城大学の主催、同窓会連合会の共催により開催されました。当日は、太田学長による大学の近況報告に続き、本学理学部の卒業生であり、現在作家として活躍されている佐月実先生をお招きし、「小説家になるまでの失敗談」をテーマに特別講演を行いました。さらに、オンラインチャリティーイベント「Giving Campaign」に参加した学生代表による活動報告が行われました。最後に、同窓会連合会の大朧会長よりご挨拶をいただき、本イベントは盛況のうちに閉会となりました。また、本イベントは水戸キャンパスで開催された学園祭「茨苑祭」と同時開催となったため、プログラム終了後には、茨苑祭を楽しまれる方々の姿も多く見られました。

第19回茨城大学同窓会連合会総会及び第17回意見交換会を開催

令和6年9月30日(月)に、茨城大学同窓会連合会総会を行いました。「令和5年度の事業報告・収支決算」、「令和6年度の事業計画案・予算案」、茨城大学の応援団体である「イバダイ・サステナ・パートナーズ(略称:イバサス)の創設」について審議・報告を行いました。続いて、「次期2年間(令和6・7年度)の役員を選出」が行われ、農学部同窓会の大肚徹会長が、次期茨城大学同窓会連合会の会長となることが承認されました。また、意見交換会では、各同窓会から活動報告及び今後の活動予定について説明がありました。

茨城大学同窓会連合会役員

(令和6年10月1日～令和8年10月頃開催の総会まで)

名誉顧問	長問 大田 寛行 (茨城大学理事・副学長(総括・財務・企画・評価))	副会長	大和田 雄 (文理学部同窓会会長)
顧問	佐川 久留主 泰弘 (茨城大学理事・副学長(総務・教育))	会長	大島 陸 (理理学部同窓会会長)
顧問	金野 満 (茨城大学理事(学術))	副会長	鈴木 忠和 (多学部同窓会会長)
顧問	山下 田和司 (茨城大学理事(社会連携・基金運営))	幹事	杉本 龍二 (農学部同窓会幹事)
顧問	菊池 あしな (茨城大学理事(ダイバーシティ・国際・SDGs))	幹事	松崎 章史 (文理学部同窓会副会長)
顧問	能島 征二 (日本芸術院会員)	幹事	齋藤 英一 (理理学部同窓会幹事)
会長	大肚 徹 (公益社団法人日本美術展覧会副理事長)	幹事	清水 淳 (多学部同窓会幹事)
		幹事	長谷川 守文 (農学部同窓会幹事)

令和5年度事業報告 (事業期間: R05.10.1 ~ R06.9.30)

年月日	事業項目	内容
R5/10/31	第47回幹事会	【議題】 ①第18回茨城大学同窓会連合会総会の議事について ②第18号会報の発行について ③令和5年度同窓会連合会費の納入依頼について
R5/11/6-12	Giving Campaign 2023(秋)	【後援】 ①物価高騰などによる厳しい状況が続く茨城大学の学生団体への支援 ②茨城大学の支援者コミュニティの拡大・活性化 【共催】茨城祭の開催にあわせて、ホームカミングデー2024を開催 ①開会挨拶及び大学の近況報告 ②進歩学長特別補佐(SDGs推進)による特別講演 ③学生報告(Giving Campaign参加報告) ④卒業生(理工学系)による「後援者表彰」についての発表 ⑤「絆」をテーマにした50分間の学生パフォーマンスについて ⑥校歌静聴、開会挨拶、記念撮影
R5/11/11	ホームカミングデー2023	【議題】 ①令和4年度事業報告及び収支決算について ②同窓会への支援要請について(周年事業等) ③令和5年度事業計画・予算(案)について ④大学と同窓会との情報連携について(個人情報の共有化) ⑤校友会創設に向けた中間状況説明 ⑥茨城大学ホームカミングデー2023の実施・結果について ⑦Giving Campaign 2023の実施・結果について ⑧茨城大学情報ネットワークシステム利用要項に基づく手続きについて
R5/11/20	第18回総会	【議題】 ①令和4年度事業報告及び収支決算について ②同窓会への支援要請について(周年事業等) ③令和5年度事業計画・予算(案)について ④大学と同窓会との情報連携について(個人情報の共有化) ⑤校友会創設に向けた中間状況説明 ⑥茨城大学ホームカミングデー2023の実施・結果について ⑦Giving Campaign 2023の実施・結果について ⑧茨城大学情報ネットワークシステム利用要項に基づく手続きについて
R5/11/20	第16回意見交換会	各同窓会の活動状況(現行及び今後の活動について)
R6/3/8	会報「第18号」発行	発行部数:5,000部 卒業生・修了生への配付 職域同窓会への郵送
R6/6/7	第48回幹事会	【議題】 ①令和6年度ホームカミングデーの開催について ②Giving Campaignの開催について ③イバダイ学シンポジウムへの共催について ④校友会の創設について
R6/9/11	第49回幹事会	【議題】 ①第19回茨城大学同窓会連合会総会の議事について ②第19号会報の発行について ③令和6年度同窓会連合会費の納入依頼について
R6/9/30	第19回総会	【議題】 ①令和5年度事業報告及び収支決算について ②大学への支援について ③令和6年度事業計画及び予算(案)について ④令和6～7年度後身の選出について ⑤茨城大学校友会(仮称)設立について ⑥Giving Campaign 2024の開催について ⑦茨城大学ホームカミングデー2024の開催について ⑧茨城大学情報ネットワークシステム利用要項に基づく手続きについて

令和6年度事業計画 (事業期間: R06.10.1 ~ R07.9.30)

年月日	事業項目	内容
R6/10/11-20	Giving Campaign 2024	【後援】 ①茨城大学の学生団体への支援 ②茨城大学の支援者コミュニティの拡大・活性化 【共催】茨城祭の開催にあわせて、ホームカミングデー2024を開催 ①開会挨拶、大学の近況報告 ②本学理理学部卒業生である作家の特別講演 ③学生報告(Giving Campaign上位団体によるお礼パフォーマンス) ④校歌静聴、開会挨拶、記念撮影
R6/11/10	ホームカミングデー2024	【議題】 ①令和5年度事業報告及び収支決算について ②大学への支援について ③令和6年度事業計画及び予算(案)について ④ホームカミングデー2025の開催について ⑤Giving Campaign 2025の開催について
R7/3	会報「第19号」発行	発行部数:5,000部(案) 卒業生・修了生・職域同窓会への配付を予定
R7/5-6	第50回幹事会(予定)	【主な議題】 共催:ホームカミングデー2025の開催について 後援:Giving Campaign 2025の開催について
R7/9-10	第51回幹事会(予定)	【主な議題】 ①10月開催予定の茨城大学同窓会連合会総会の議事について ②第20号会報の発行について ③令和7年度同窓会連合会費の納入依頼について
R7/10	第20回総会及び第18回意見交換会(予定)	【主な議題】 ①令和6年度事業報告及び収支決算について ②大学への支援について ③令和7年度事業計画及び予算(案)について ④ホームカミングデー2025の開催について ⑤Giving Campaign 2025の開催について

令和5年度収支決算 (会計期間: R05.10.1 ~ R06.9.30)

事項	収入		備考	支出		備考
	当初予算	収入額		当初予算	支出額	
1 繰越金	839,850	839,850		1 管理費	135,000	128,130
2 会費	250,000	250,000	同窓会連合会費(5学部同窓会×5万円)	(1) 通信費	10,000	6,030
3 事業費	0	0		(2) 印刷費	120,000	121,000
4 預金利息	9	63	2月分・8月分	(3) 事務費	5,000	1,100
5 寄附金	1,200,000	1,200,000	茨城大学基金への寄附(各同窓会からの拠出金)	(4) 会議費	10,000	0
				(2) 交際費	30,000	0
				(3) 寄附金	1,250,000	1,250,000
				(4) 共催金	50,000	50,000
				3 予備費	814,859	0
合 計	2,289,859	2,289,913		合 計	2,289,859	1,428,130
				次年度繰越額		861,783

令和6年度予算 (会計期間: R06.10.1 ~ R07.9.30)

事項	収入		備考	支出		備考
	決算額	収入額		決算額	支出額	
1 繰越金	861,783			1 管理費	135,000	
2 会費	250,000		同窓会連合会費(5学部同窓会×5万円)	(1) 通信費	10,000	会報郵送、総会案内発送等
3 事業費	0			(2) 印刷費	120,000	会報5,000部印刷
4 預金利息	63		2月分・8月分	(3) 事務費	5,000	消耗品、振込手数料
5 寄附金	2,000,000		茨城大学基金への寄附(各同窓会からの拠出金)	2 事業費	2,060,000	
				(1) 会議費	10,000	役員との懇談会費
				(2) 寄附金	2,000,000	茨城大学基金への寄附
				(3) 共催金	50,000	ホームカミングデー
				3 予備費	916,846	
合 計	3,111,846			合 計	3,111,846	

編集後記

令和6年10月11日～20日に開催したオンラインチャリティイベント「Ibaraki University Giving Campaign 2024」では、今年度は100大学が参加し、本学は67の学生団体が参加しました。全体で13番目に多い延べ9,000人以上の方から応援や温かなメッセージをいただき、大きな盛り上がりとなりました。これは、学生の呼びかけに対して、友人や保護者だけではなく、卒業生の皆さまのお力添えがあったからこそだと感じています。今後も、茨城大学同窓会連合会は、学生と卒業生との繋がりを様々な形で繋げていけるよう活動を行ってまいります。 M.Y

茨城大学同窓会連合会事務局
(国立大学法人茨城大学研究・社会連携部社会連携課内)
〒310-8512 水戸市文京2-1-1
電話: 029-228-8781 FAX: 029-228-8495

茨城大学HP
<http://www.ibaraki.ac.jp/>
茨城大学同窓会連合会HP
<https://www.ibaraki.ac.jp/generalinfo/alumnus/union/>

